

合併号
2020
10月
11月
October+November
町内会だより

tamagawagakuen-chounaikai 町田市玉川学園 2-19-5
玉川学園町内会 月曜日～金曜日 10:00～16:00
※年末年始を除きます
https://tamagawagakuen-chonaikai.net
Tel/Fax : 042-725-0438 t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp

年末特別警戒パトロールのお知らせ 防犯防災部

年末特別警戒パトロールを下記の要領で実施します。お子さんやお孫さんを連れての参加も大歓迎です。ご参加をお待ちしております。今年は、コロナ感染防止対策を行ったうえでの実施となります。
※参加のおりはマスクの着用をお願いいたします。



| 日時・集合場所 | |
|--|---|
| 第一地区 12月26日(土)18:00～ 12月28日(月)18:00～ 玉園台児童遊園 参加者にお菓子をプレゼントします | 第五地区 12月19日(土)19:00～ なかよし公園防災倉庫前 参加者にお菓子をプレゼントします |
| 第二地区 12月27日(日)19:00～ きらぼし銀行前 参加者にお菓子をプレゼントします | 第六地区 12月26日(土)19:00～ プレゼント! 玉ちゃんバス東急台入口バス停付近 参加者にお菓子をプレゼントします |
| 第三地区 12月26日(土)16:00～ プレゼント! 3丁目児童公園 参加者にプレゼントを差し上げます | 第七地区 12月23日(水)19:00～ 7丁目児童公園 参加者にお菓子をプレゼントします |
| 第四地区 12月21日(月)18:00～ 第四地区防災倉庫前 参加者にお菓子をプレゼントします | 第八地区 12月20日(日)19:00～19:45 プレゼント! 無窮会坂上 参加者にホットなプレゼントを差し上げます |

「サギ110番の家」プレート配布 防犯防災部

町田市町内会自治会連合会では、警視庁からの要望も踏まえ「サギ110番の家」のプレートを5,000枚作成し、希望する家庭に配付します。
町田市では相変わらず特殊詐欺の被害が多く、新たな手口も現れており対策が欠かせません。犯罪者は警戒心が強く、プレートが出ている家は避けることが期待できます。多くの家庭でプレートを出すことにより、町全体で詐欺に対する対策をとることになりますので、ぜひご協力ください。
プレートを希望される方は、回覧板にて申し込みを受け付けますのでお申し出ください。
(プレートのサイズ: 縦18cm×横8cm)



第2回環境委員会報告 環境部

今年度第2回目の環境委員会が9月26日(土)、さくらんぼホールで開催されました。今回も密を避けるために環境委員を地区毎に2グループに分け、午前と午後の二部制とし、53名の委員のうち70%の委員が参加しました。
今回は、町田市役所3R推進課の職員による出前講座で、「町田市の資源とゴミの諸問題」というテーマで、家庭から出される燃やせるゴミが収集されてから、どのように処理されていくかの説明がありました。多摩地域には25市1町がありますが、町田市は燃やせるゴミの住民一人当たりの量が3番目に多いとの事です。それぞれの市によって、ゴミの分別方法が微妙に異なっているため、単純比較はできませんが減量のための課題はあります。
町田市では、1年間に一人当たり150kg、20ℓ入りの袋で150個の燃やせるゴミを出していて、そのうちの35%が生ゴミ。生ゴミの80%は水分だそうで、生ゴミはぬらさない、乾かす、ひとしぼりを心がけるだけで減量できるとの事です、今日から早速励行しましょう。

防災コーナー開設しました!!

ホームページでは最新の情報を発信しています

玉川学園町内会 検索

新しい部門がスタートしました コミュニティ部

昨年までの高齢者部、成人部、青少年部、文化部の4部を統合した新しい部です。
皆さん、お隣りやご近所の方と挨拶されていますか。顔を知るのがコミュニティ作りの基本です。お互い顔見知りになりましょう。町内会の標語は「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」です。お互いの絆を持った町内会をつくるために、防犯防災・環境の2部門から外れる地域の問題全てに関わるのが今年度新しくできたコミュニティ部です。昨年までの高齢者部、成人部、青少年部、文化部の4部を統合した新しい部です。
「コミュニティの形成」を長期のビジョンと定め、「挨拶運動」を企画・検討中です。災害時などのいざというときに力を発揮できる機能を持ったまちづくりの第一歩として、子どもからお年寄りまで全会員が参加できる運動の展開を想定しています。
趣旨に賛同し協力して頂ける皆さんと共に、“お互いさま”の気持ちの持ち合えるまちづくりを目指します。コミュニティ部はその達成のための活動をします。地域内にある諸団体との情報交換を密にして、地域特有の問題に積極的に取り組んでいきます。そのためには、中心的拠点となる場所があればとか、皆が参加可能な町民運動会のような企画など提案できるのでは、と思っております。

皆様のご意見などを是非メールでお聞かせください。

t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp
コミュニティ部へお送りいただく際は「コミュニティ部行き」と明記してお送りください。

コミュニティ部主催イベント中止のお知らせ

- クリスマス子どもの集い
 - 餅つき体験会
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は残念ながら中止とさせていただきます。

地区防災訓練・交流会実施報告 第五地区

10月17日(土)雨模様の中、なかよし公園防災倉庫前で第五地区防災訓練/交流会が行われ、20の方が参加しました。
訓練は、防災倉庫前に3×3mのテントを張って行われました。防災倉庫新規購入備品の発電機、投光器、大人4人で使う布担架(120kg対応可)等の説明の後、大規模地震への備えは?避難場所は何処?など防災アンケート実施後だけに熱心な質疑応答が続きました。参加者から、防災家族会議では「食料品や日用品の備えは出来ているがトイレ対策が不十分だったことに気がついた。」という話もありました。模擬消火栓ボックスを使ったスタンドパイプの装着訓練では、実放水訓練を望む声がありました。
町五小に自力で避難出来ない要配慮者への対応の話から、災害時には住民同士の協力が必要なことや日頃から挨拶を交わすことの大切さが再認識され、組織的対応策/仕組みづくりの必要性が話題になりました。今回と同様な訓練を繰り返し行う事の大切さを痛感しました。

資源回収の報告 環境部

9月重量は **84.3 トン**でした

10月重量は **00.0 トン**でした

資源物は 収集当日の朝8時半までに出してください

- ※古紙・ダンボールは必ず紙ひもで括ってください
- ※古布は一度に出さず分散して出してください

資源物のお問い合わせは 町内会事務所または 大興資源へ
☎045-929-4813

資源物の不正な抜き取りを目撃した時は 日時、場所、回収車の車両番号などを町内会まで
☎725-0438



※「町内会こども記者クラブ」とはコラム名です

10月11日の在宅での防災訓練を体験して記事を書きました。(総合防災訓練…町内会だより前月号でご案内)

防災訓練当日は小学校の運動会があり、白いタオル出しは出来ませんでしたが、家族で防災について話し合いました。

まず、必要な水の量に私は驚きました。水は五人で一日2リットルでいいと思っていたからです。家に備えている水の量では一日ももたないなと思い、もっとたくさん用意しておいたほうがいいなと思いました。

次に驚いたのは、家に簡易トイレがあることです。今まで一度も見たことがなかったので、あることを知らなかったのです。だから、日頃から家族全員で何がどこにあるかを確認しておかなければいけないなと思いました。

今回、『東京防災』を読んでみて、災害が起きたときは何よりも慌てないことが一番大切な事だと改めて感じました。慌ててしまったら、自分の命も家族の命も危険にさらしてしまい、助けられたはずの命も助けられなくなってしまうと思ったからです。だから、これからも定期的に防災について家族と話し合いたいなと思いました。

●ペンネーム：M.K (4年生)

ぼくは、防災のことや、ひなんの仕方など、いつも学校で先生から教わっているので、よく知っていると思っていました。しかし、防災会議を開いて話し合いをしてみると、家の中や公園で遊んでいる時など、学校以外にいる時も、いろいろなきけんがあることが分かりました。家の外では、電柱がたおれて来たり、ブロックべいがくずれてきたり、予想ができないことがたくさんあります。家族がいっしょにいない時は、自分でしょうきょうをはんだんし、行動することが命を守ることに繋がると知りました。災害伝言ダイヤルも使ったことがないので、使い方が分かりません。このように、家族で話し合ってみると、初めて分かったことがたくさんありました。

防災会議を開いてみて分かったことは、ルールを決めておくのが大切だということと、他人が命を守ってくれるわけではなく、自分で行動しなければならぬということです。ぼくは自分ではんだんする力をつけたいです。

●ペンネーム：K (4年生)

自宅での防災訓練をしました。朝、玄関に白いタオルを出しました。これは周りに安全無事を知らせる確認のためです。町内会の防災アンケートがあったので家族で確認しながら記入しました。東京防災という黄色い本も読みました。本には知らないこと、やること、準備しなくてはならないことがいっぱい書いてありました。その中の家族でやろう防災アクションを見て防災リストを作りました。

私が特に必要だと思ったのはお水、カップラーメン、カセットコンロです。買い出しリストも作りました。家のストックを確認してお水とカップラーメンが特に足りないと思ったのでリストに二重丸を付けました。お菓子も入れました。お菓子があると元気が出るので必要です。私はチョコレートが好きなので、お気に入りのチョコとあめを追加しました。いつくるかわかりませんが、災害時に必要な物を買って安心して備えたいと思いました。

●ペンネーム：カワセミ (6年生)

私は今まで「防災」というものにあまり興味がなかった。災害なんて起こるわけないと勝手に思い込んでいたし、小学生の頃から同じことを言われているので特別に注意を払わなくなっていた。しかし、自宅で行った防災会議でその考え方は大きく変わった。

驚いたのは、登下校中に災害が起こった時の行動だ。私は電車で通学しているが、緊急停止した際にまずは自分の身を守ること、そして駅員の方にも相談しながら、知らない場所を歩き回るよりは駅に留まる方が安全なこと。上から降ってくるものから身を守るには、リュックはもちろん冬だったらコートやジャケットでも良い。公衆電話の安否確認ダイヤルは知っているが、使い方はよく知らない。これらは全て自分の生活でいつか起こりうることに、想像が及ばなかった。

日々の話し合いなど大変で面倒だが、全てが想定内という訳ではない。だからこそ自分の頭で考えて判断できるようにしていきたい。

●ペンネーム：S (中学1年生)

年末年始事務所休業のお知らせ

12月26日(土)～1月6日(水)です

市政懇談会が開催されました

玉川学園・南大谷地区 町内会自治会連合会

2020年度玉川学園・南大谷地区市政懇談会が10月14日(水)、さくらんぼホールで開催されました。

今年の市政懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、人数と時間を絞った形で開催されました。町田市からは石阪市長と各部門の担当責任者、地域からは玉川学園町内会及び周辺の自治会代表者20名が参加しました。

懇談会の前半は、事前に提出した地域要望事項に関して市の担当責任者が回答し、その後質疑応答する形で行われました。質問事項は、玉川学園町内会から(1)避難施設での新型コロナウイルス対応について、(2)地域資源回収の今後の方向性について、(3)玉川学園前駅周辺の路上喫煙禁止区域指定について、(4)恩田川沿いの桜並木の整備について、の4つが出されました。他の自治会からは、(5)玉川学園前駅南側地域における子育て支援について、(6)南大谷地域の交通環境整備について、が出されました。

後半は、石阪市長が市政の中で、特に新型コロナウイルスに関連した対応策が説明されました。

懇談会の議事録は、市のホームページで公開され、町内会のホームページにも転載される予定です。

たま坂

こどもの葉

我が家の隣の児童公園から消えた、元気に遊ぶ子どもたちの歓声が、秋風と共にようやく戻ってきました。

例えば、この公園の砂場の前のフジ棚に、いつもの年のように見事な藤の花房がいっぱい垂れ下がる頃から、児童公園内には人影が見られなくなりまし。新型コロナウイルス感染拡大の中で「巣もり」生活からでしよるか、子どもたちの姿が見えず声が聞こえない児童公園は、ひっそりと静まり返った「非日常」の世界でした。



そして今、再び無邪気に遊ぶ子どもたちの元気な声がかえってきて、イキイキとした声に元気をもらい、自然に笑顔になっている自分に気づきます。

そのことから思い出したことは、以前我が家で在宅介護をしていた母が、『公園から聞こえてくる子どもたちの声が、なんとも可愛い』とよく口にし、目を細めていた姿でした。母は毎日、子どもたちの声を最後まで楽しみながら安らかに九十余年の生涯を閉じました。人に「生きる力」を与えてくれる無邪気な子どもたちの声・・・今日も、幼い兄妹がお母さんに見守られながら遊びまわり、歓声を上げていました。子どもたちは、私たち「町の宝」ですね。

事務所通信「まど」

- 広報部取材 -

町内会事務所は平日午前10時～午後4時まで玉川学園町内会(第一地区から第八地区)の事務を行っています。一般的な総務の仕事に加えて回覧業務、各部の事業の書類づくりなど、多岐にわたります。取材をさせていただいている間にも問い合わせの電話や来訪される会員さんが多く、皆さん大忙しでした。

事務員談：「各支部の委員の皆様がパトロールや善意の傘の管理、その他住み良い環境をつくるための活動を行って下さる支えがあって町内会の活動が行われていること、また役員・幹事のの皆様が地域のことを考えてアイデアを出し合い進めていることを日々目の当たりにしているので、皆様ができるだけスムーズに進められるようにお手伝いをしていきたいと思っています。」

今回、取材の中で、回覧などの文章については、どう伝えるのか、会員の方が混乱しないようわかりやすい丁寧な書き方をすることが大事とお話もあり、その姿勢に、学ぶところがあり、とても勉強になりました。事務所は会員の皆様と役員幹事をつなぐ『まど』のような存在であると取材を通して感じました。